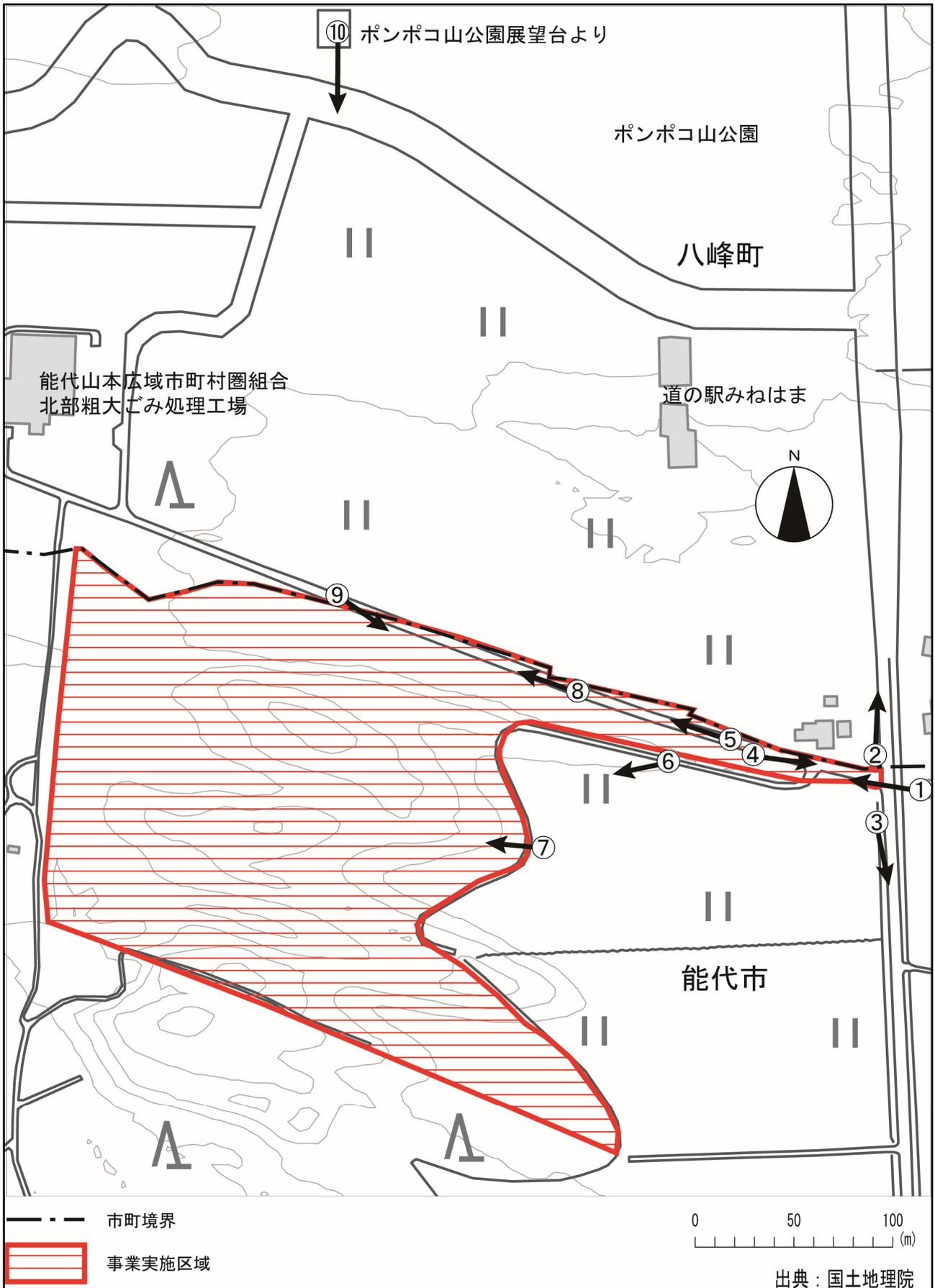


1. 計画地現況







2. 施設概要

(1) 可燃ごみ処理施設

項目	概要		
処理対象物	可燃ごみ及び不燃ごみ・粗大ごみ処理施設からの可燃残さ		
処理能力	80 t / 日 (40 t / 24 h × 2 炉)		
処理方式	全連続燃焼式ストーカ炉方式		
余熱利用	給湯、暖房、ロードヒーティング		
煙突条件	高さ	59m	
	排ガス量	11,352 m ³ N/h・炉	
	排ガス温度	140°C	
排ガス条件 (全て酸素 12% 換算値)	項目	法規制値	自主規制値
	ばいじん (g/m ³ N)	0.08	0.01
	硫黄酸化物 (ppm)	K 値=17.5 約 6,510(注1)	50
	窒素酸化物 (ppm)	250	100
	塩化水素 (ppm)	430	50
	ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1.0	0.1
	水銀 (μg/m ³ N)	30	30
排ガス処理	ばいじん	ろ過式集じん器	
	塩化水素・硫黄酸化物	乾式 HCl・SO _x 除去装置	
	窒素酸化物	無触媒脱硝装置	
	ダイオキシン類・水銀	ろ過式集じん器、活性炭吹込み装置 (必要に応じて)	
排水処理	プラント系排水	クローズドシステム (無放流方式)	
	生活系排水	クローズドシステム (無放流方式)	
	雨水排水	雨水処理設備による地下浸透を基本とする	
建築計画	構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造	
	建築面積	約 3,900m ²	

(注1) 当市の硫黄酸化物の規制基準値 (ppm) を設定する際の計算式で使用する係数 K 値は 17.5 であり、有効煙突高さ 59m、排ガス量 11,352m³N/h と仮定した場合の法規制値は、約 6,510ppm と想定される。

(2) 不燃ごみ・粗大ごみ処理施設

項目	概要	
処理対象物	不燃ごみ及び粗大ごみ	
処理能力	5 t / 日	
処理方式	低速回転式及び高速回転式	
排水処理	可燃ごみ処理施設の排水処理設備へ移送	
建築計画	構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造
	建築面積	約 1,400m ²

3. 搬入搬出計画

ごみの搬入は、県道 209 号埴川能代線の交差点から国道 101 号を経由する南ルートと、道の駅みねはま方面の国道 101 号を経由する北ルートの 2 系統とする。それぞれの推計運行台数は次表のとおりである。

ごみ収集車等の運行台数（片道 1 日当たり・日最大） （単位：台／日）

運 行 車 種	南ルート	北ルート
ごみ収集車等	150 台	11 台
資材等搬出入車等	4 台	0 台
通勤車等	33 台	2 台

- 注) ・ごみ収集車等：収集車＋直接持込車
・資材等搬出入車等：灰運搬車＋薬剤搬入車
・通勤車等：通勤車＋公用車＋来訪

4. 施設整備事業スケジュール

項目	令和2年度			令和3年度												令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度					
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	
発注仕様書作成																																	
募集要項 審査基準の作成																																	
事業者募集																																	
参加意思表明 資格審査																																	
応募者 技術提案図書審査																																	
最優秀提案者の選 定																																	
事業契約締結																																	
施設建設工事																																	
施設供用開始																																	

▼募集公告

▼資格審査書類不切

▼資格審査結果通知

▼技術提案図書不切

▼技術提案図書審査

▼最優秀提案者の選定

▼事業契約締結



